

## 当社の DX 推進計画の進捗について(2026 年 6 月版)

DX 推進担当取締役 古田 耕児

=====  
2025 年 2 月 10 日に公表した「DX 推進計画(2028 年 3 月迄)」について、開始した 2025 年 4 月から現時点での進捗を記します。

### 施策と指標の進捗

#### ■DX 推進運用部分

施策：委員会を設立して DX 推進をけん引

2025 年 4 月にコアメンバーによって DX 推進委員会を設立。定期的な開催を実施中。

#### ■人材育成部分

指標：若手から DX コア人材 3 名を育成すること

2025 年度マナビ DX QUEST を 4 名修了

指標：データサイエンティスト 2 名を育成すること

2025 年度マナビ DX QUEST データサイエンス部門で 1 名修了。残り 1 名は今後育成予定。

指標：デジタルスキル標準に達するメンバー 3 名を育成すること

2026 年度に育成予定。

#### ■IT 基盤部分

指標：Web 会議の同時翻訳ツール、議事録自動作成などユーティリティの導入すること

2025 年 4 月に AI 議事録自動作成ツールを全社に導入

指標：AI の報告書・レポート作成、業務指示への活用が日常化になること

全社員が利用可能である Microsoft Copilot 無償版の利用が増加

指標：人事管理システムの社員育成への活用が実現すること

2025 年度に新規導入した人事管理システムを用いた見える化を実現。2026 年度に働き方状況のリアルタイム把握のための勤怠管理システムを導入。

指標：管理部門の業務が効率化されることと業務範囲拡大を実現すること

2025 年度に生成 AI などを活用した改善案を DX 推進委員会で検討。2026 年度から構築開始している。

指標：デジタルマーケティングの恒常的利用と効果があがること

名刺情報からのメール配信は実施しているが、自動的に見込みユーザを見つけるまでには至っていない。

指標：DX 関連製品の販売実績が出ることと製品維持をしていること  
健康関連製品の販売拡大中。

■基幹システム部分

指標：機関である販売管理システムの刷新

計画通り構築中。2027 年度からのサービスインを予定。

指標：社内外システムとのデータ連携を実現すること。

新販売管理システムの設計で将来的に柔軟な対応可能にしている

2026 年 6 月 26 日